

4.2 事後モニタリングの概要

[目的] 試験投入した粗粒材について、以下の点を把握する。

(1) 粗粒材の**効果**や**移動状況**

(2) **生物環境**

[方法]

(1) 投入後粗粒材追跡調査

投入後に集中的に追跡調査を行い、**養浜前後での海浜状況の変化**や、**粗粒材の移動状況**を把握する。

(2) 環境モニタリング調査

投入後の**生物環境**について把握する。

4.3 事後モニタリング調査内容

(1) 投入後粗粒材追跡調査

①. 汀線位置の計測

調査期間中の汀線の変化を把握

②. 定点観測(定点写真撮影)

養浜前後で前浜の変化、粗粒材の移動を視覚的に把握する。

③. 投入粗粒材の追跡調査

陸上における粗粒材の沿岸方向の移動範囲を確認して、記録する。

④. 底質調査

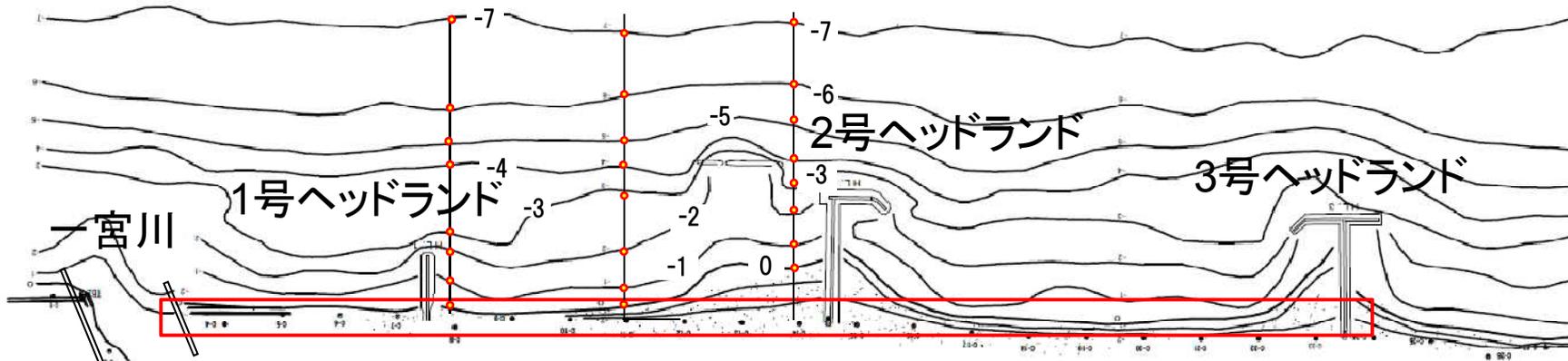
粗粒材の移動状況を確認するため、底質を採取・分析する

⑤. 波浪分析 期間中の波高、波向等进行分析する。

4.3 事後モニタリング調査内容

(1) 投入後粗粒材追跡調査 調査項目

調査項目	内容	測量時期
①汀線位置計測	一宮川～3号ヘッドランドまで	投入後1、3、7、14、28日後
②定点写真撮影	21測線(100m間隔)	
③投入粗粒材の追跡調査	一宮川～3号ヘッドランドまで	
④底質調査	陸上 9測線、18地点(汀線、バーム) 沖合：3測線、T.P. 0～-7m	
⑤波浪分析	波高、周期	期間中



4.3 事後モニタリング調査内容

(2) 環境モニタリング調査

①稚幼貝調査

汀線部のチョウセンハマグリ等の稚幼貝生息状況を把握する。

②汀線部海生生物調査

汀線部の海生生物の生息状況を把握する。

③成貝調査

沖合部のチョウセンハマグリ等の成貝生息状況を把握する。

④簡易地形計測、⑤水質調査⑥底質調査

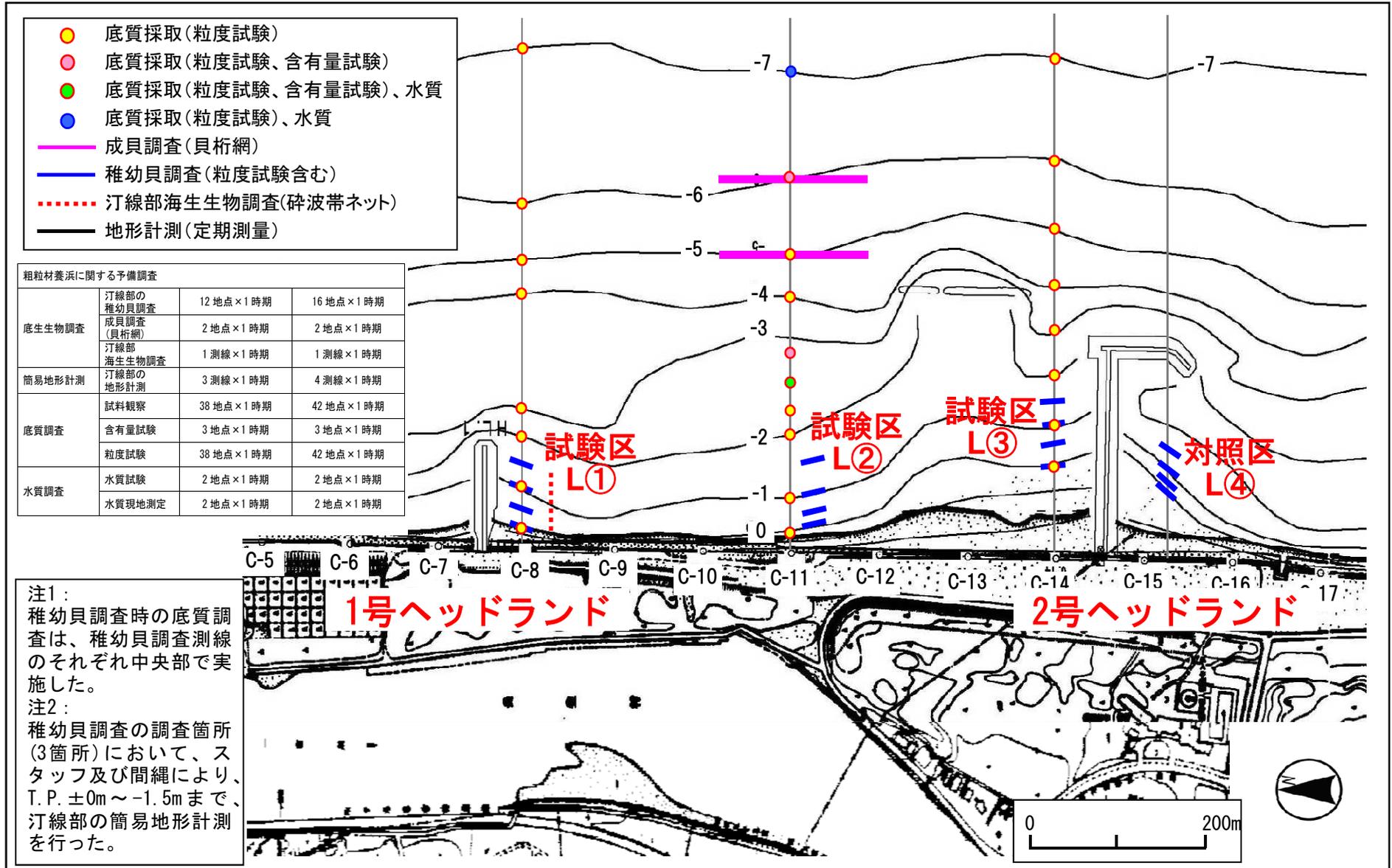
生物生息環境を把握する。

4.3 調査内容 (2) 事後環境モニタリング 内容

地点数などは、事前モニタリングと変更なし。調査時期は4, 7, 10月に行う。

調査項目		地点数		時期、頻度	
		事前	事後	事前	事後
底生生物 調査	汀線部の 稚幼貝調査	3測線、 16地点		10月	4, 7, 10月
	成貝調査	1測線、 2地点		11月	10月
	海生生物調査	1地点		10月	4, 7, 10月
地形計測	地形計測	4測線		10月	
底質調査	資料観察 ・ 粒度試験	3測線、 計42地点		10月	
	含有量試験	1測線、 3地点 1測線、 3地点		11月	
水質試験	水質試験	1測線、 2地点		11月	
	現地測定	1測線、 2定点		11月	

4.3 調査位置



今後の見通しについて

5 粗粒材養浜試験 -今後の流れ-

